

U022-11

会場:304

時間:5月22日 17:35-17:50

雲解像モデルを用いた土砂災害予測の試み - 2004年台風22号の通過に伴う横浜市の災害事例 - Forecast Experiment of Landslides Using a Cloud-Resolving Model -Case Study of Typhoon 0422-

三隅 良平^{1*}, 清水慎吾¹
Ryohei Misumi^{1*}, Shingo Shimizu¹

¹ 独立行政法人 防災科学技術研究所
¹NIED, Japan

雲解像モデルと土砂災害の発生確率評価を組み合わせ、横浜市を対象として2004年台風22号に伴う土砂災害の予測実験を行った。台風上陸前のデータを初期値とした11時間の予測結果は、台風の移動を概ね予測したが、降雨分布は実際よりも山岳斜面に集中しており、横浜市では11時間雨量で33%の過少予測であった。また予測された横浜市における土砂災害は、レーダアメダス解析雨量を用いて評価した場合よりも、同一の捕捉率に対して適中率が9.4%減じた。

キーワード: 降雨, 土砂, 予報

Keywords: rainfall, landslide, forecast